

報道関係者各位

御所野縄文公園（一戸町）における

プッシュ型情報発信システム「メモタグ(MEMOTAG®)」の実証試験について

岩手県立大学では、平成 24 年度から、文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラム「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点」に取り組んでいます。

現在、このプログラムの研究開発テーマの一つである「Wake on demand 通信システムの開発」において、本学と株式会社イーアールアイ（盛岡市）が共同で開発したプッシュ型情報発信システム「メモタグ(MEMOTAG®)」の実証試験を、御所野縄文公園にて実施し、観光客等の利便性向上を図っています。

この度、下記の通り、本学学生がフィールドワークによりシステムの動作確認や性能評価を行いますので、当日の取材について、よろしくお願ひします。

記

1 日時及び会場

平成 28 年 8 月 20 日（土）10：30～12：00 開発者からの説明、システム調査
13：00～14：00 調査結果に基づく検討等

御所野縄文公園（一戸町岩館字御所野 2）

2 実証試験の内容等

開発者から「メモタグ(MEMOTAG®)」について説明した後、公園内 15 箇所に設置されたポイントを回り、情報配信状況やコンテンツの内容等について評価を行います。参加者：総合政策学部学生 6 人他

3 その他

- (1) 実証試験は、7 月 30 日（土）から 10 月 11 日（火）まで実施予定です。期間中は、来館者に「メモタグ(MEMOTAG®)」が使用できるタブレットを貸し出しています。
- (2) 取材いただける場合には、タブレット準備等の都合がありますので、8 月 19 日（金）までに下記担当までご連絡くださるようお願いします。
- (3) 8 月 27 日（土）には、一戸まつり会場に「メモタグ(MEMOTAG®)」を設置し、街なか案内システムとしての効果検証も行う予定です。

※「メモタグ(MEMOTAG®)」について

実証試験中の「メモタグ(MEMOTAG®)」はインターネット接続を必要としない、世界初の全く新しい形のコンテンツ配信システムです。スマートデバイスへのコンテンツの配信は、Wi-Fi やキャリア回線によりインターネット接続を行いサーバから情報を送ることが一般的ですが、「メモタグ(MEMOTAG®)」は機器内に記録しているコンテンツ情報を BLE (Bluetooth Low Energy) 通信で直接スマートデバイスに配信します。ボタン型電池で約半年間稼動し、電波環境が悪く、コンセント等の電気設備がない山頂等でも利用可能なシステムです。 ※「MEMOTAG」は株式会社イーアールアイの登録商標です。

【担当】岩手県立大学 研究・地域連携室 菊池 Tel.019-694-3330
いわて産業振興センター 県大駐在イノベーションクリエイタ 武部 //

御所野縄文博物館ガイド利用方法

アプリの起動



タップ



周囲にメモタグがあると、自動的に追加されます。タップすると詳細な説明

2016.7.13版

※ 地域イノベーション戦略支援プログラム「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点」について

地域イノベーション戦略支援プログラムは、平成 23 年度より、地域イノベーションの創出に向けた地域の主体的かつ優れた構想に対して、関係府省の施策を総動員して支援するため、経済産業省及び農林水産省と連携して、「地域イノベーション戦略地域」の選定を行い、選定した地域に対して、文部科学省では、ソフト・ヒューマンを重視した支援（「地域イノベーション戦略支援プログラム」）を行っているもの

このうち、「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点」は、平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間、県、岩手県工業技術センター、いわて産業振興センター及び高等教育機関（岩手県立大学、岩手大学、一関工業高等専門学校）が連携し、いわてに蓄積された、自動車産業の土台となる材料・高度加工技術、デバイス技術、および ICT 技術を生かし、次世代モビリティのイノベーションを創出する地域拠点形成を図り、震災復興に向けて取り組んでいるもの。

※ Wake on demand 通信システムの開発について

EV などの環境対応自動車が内蔵する各種 ICT 機器状態の収集を可能とする、Wi-Fi 信号を用いた無線システムの開発で、ネットワークの接続履歴をもとに適切な観光情報を配信する車両用高度通信システムを構築するもの。